

# 学校関係者評価報告書

御茶の水美術専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校の令和3年度自己点検・自己評価の結果報告に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり評価結果を報告いたします。

## 記

### 1. 開催日時

令和3年11月 5日(金) 10:00～12:00

令和4年 6月23日(木) 10:00～12:00

### 2. 開催場所

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校 会議室

### 3. 学校関係者評価委員

委員長 渡部卓明(企業)

委員 瀧澤奈美(企業)、長倉義信(公益法人)、星賢人(企業)、田中康平(卒業生)

### 4. 議事経緯

令和3年度上期(11/5委員会)および年間(6/23委員会)の自己点検・自己評価の実施結果について、学校関係者評価委員会において学校側関係者より説明・報告を行い、各委員から評価結果に対する評価コメントならびに改善に向けた意見・提言をいただいた。

委員の総括評価および主な評価コメントは以下のとおり。

### 5. 評価結果

#### (1) 総括評価

学校側による293項目の自己点検結果は「○(できている)」が234項目(79.9%)で昨年より8項目増加し、全体的には学校運営・教育活動は良好に遂行されていることが確認できた。

しかし、一部の項目に改善すべき課題があるため、課題項目毎に策定した改善方策等を確実に実行し、更なる教育活動・学校運営の質の向上を目指すよう期待する。

#### (2) 各委員の主な評価コメント

- ①本委員会での活動報告のレベルが毎回上がってきており、学生のアウトプットの質も向上していると感じる。貴校は、学生のために何ができるか、社会に学生を届けることでどのような変化を起こすかというビジョンを持っていると感じ、こちらもエネルギーをもらっている。貴校のコンテンツやプログラムが素晴らしいからであり、これがもっと広がってほしいと思う。

- ②企業の中で、エンジニア系人材とサステナビリティ系人材が足りないと言われているが、今年になってから ESG や SDGs に特化した人材が欲しいけれど、どこにもいないと言われるようになってきた。企業では多様な人材が求められており、貴校が実施している ESG 教育は、就職活動においても企業側の反応が良くなっていくだろうと感じている。
- ③貴校の特色として実学に積極的に取り組まれているが、インターンシップは学生の腕を磨く場、人格形成の場であり、それがうまく就職に繋がっていく。成果として出てくれば、それが貴校に対する学生の興味を引き、一つの循環が生まれる。今の形を発展的にやっていくのがいい。
- ④マーケティングの世界でもオンラインとオフラインのバランスをどう組み上げていくかが大事だが、どちらか一辺倒であっても人間の行動はあまり影響されないと最近感じている。いろんな意味で箱ができると、箱の中に埋め込めば自動的に成果が生まれるという勘違いが生まれるが、何か違う切り口をもって解決策とクリエイティビティを発揮するのが貴校の特徴だと思う。産学連携授業とそれ以外の実業の部分に積極的に取り組むのがいいと思う。
- ⑤先日貴校の学生から就職活動に関する問い合わせメールがきたが、貴校はキャリア支援の活動がしっかりしていると感じた。産学連携の授業の中で企業とつながれるということが、学生にとって貴校への入学のモチベーションにつながっている。学校という軸で SDGs に取り組んでいることが貴校の強みだと思った。
- ⑥貴校は学生の「自信」をサポートしていると感じた。2年生もアドビを必須授業として ACA 検定試験を受ける体制を作ったことは学生の「自信」につながる。保護者との連携を通じて学生が何をやっているのか周囲が理解して、一緒に考えるのはいいことだと思う。

以上